

教育協カウィーク 基礎セッション⑥ 理科  
「好奇心の芽を育む理科教育―途上国の現場における実践のヒント」

**1. 背景**

近年の科学技術の急速な進展により途上国における理科教育の充実がますます求められている。理科教育は、国の発展と持続可能な未来を築く上で欠かせない要素である一方で、途上国では資源や教育環境の制約、教師の専門知識不足など、さまざまな課題に直面している。実験や観察といった体験を通じた発見から学ぶ面白さが理科の魅力の一つに挙げられるが、途上国では実験器具などの資源不足から、知識詰め込み型の授業が行われる傾向にある。実際の自然現象から得られる驚きや発見こそが好奇心の源であり、好奇心を育むことで児童生徒が主体的に学び続けることにつながると考えられる。様々な制約の中でも、好奇心の芽を育むことが理科教育の充実の鍵となる。

本セッションでは、日本と途上国における好奇心の芽を育む理科教育に焦点を当てる。日本や途上国の理科教育現場で豊富な経験を持つ登壇者が取り組む好奇心を育むための実践事例やアプローチを共有し、途上国の理科教育協力の在り方を議論する。

**2. 目的**

- 日本や途上国の理科教育における好奇心を育む実践事例やアプローチを共有し、理科教育の課題や可能性について考える。
- 途上国における好奇心を育む理科教育協力の在り方や今後の支援の可能性について考える。

**3. 主な対象者**

教育協力事業に関わる実務者、教育協力に関心のある一般参加者等

**4. 使用言語**


日本語


**5. 開催方法**

オンライン ※登壇者は対面またはオンライン

6. 登壇者（写真付きプロフィール）（50音順）

|   |   |
|---|---|
| <p style="text-align: center;"><b>東南アジア教育大臣機構理数教育センター<br/>スペシャリスト（JICA シニア海外協力隊員）<br/>大西 寛（おおにし ひろし）</b></p>  |    |
| <p>兵庫県公立中学校理科教諭として 30 年間勤務。在職中に 2 回、退職後に 3 回 JICA 海外協力隊員として理科教育分野で活動。1994 年-1996 年マラウイ、2006 年-2008 年パキスタン、2015 年-2017 年エチオピア、2019 年-2020 年、2021 年-2022 年マレーシア。2023 年 8 月よりマレーシアで活動中。活動先の YouTube サイトにアップした 41 本の理科実験ビデオの日本語版を展開中。<br/><a href="https://www.youtube.com/channel/UC82KWgPkhbWMuiHdIe0soQ">https://www.youtube.com/channel/UC82KWgPkhbWMuiHdIe0soQ</a></p> |   |
| <p style="text-align: center;"><b>富山大学<br/>准教授<br/>月僧 秀弥（げっそう ひでや）</b></p>  |  |
| <p>富山大学教育学部共同教員養成課程准教授。東京理科大学理学研究科科学教育専攻後期博士課程修了。博士（学術）。福井県内公立小学校、福井県児童科学館、福井県内公立中学校等の勤務を経て現職。主な研究テーマは、サイエンスコミュニケーション、理科の教材開発、探究的な理科の授業、幼児に対する科学教育など。学校で理科の授業を行うだけでなく、教員研修や科学館や科学イベントでのサイエンスショー、実験教室、幼児対象科学教室などで講師となりサイエンスコミュニケーションを実践。昨年、JICA と富山大学の共同実施によるエチオピアに対する理科教育支援のための「国別研修」を担当。</p>   |   |
| <p style="text-align: center;"><b>筑波大学附属小学校<br/>教諭<br/>鷲見 辰美（すみ たつみ）</b></p>  |  |
| <p>1964 年、愛知県生まれ。大学卒業後、NTT、愛知県岡崎市の教員を経て筑波大学附属小学校教諭となる。筑波大学附属小学校主幹教諭、筑波大学共愛学園前橋国際大学非常勤講師、日本初等理科教育研究会理事長。日本テレビ「世</p>  |   |

|  |   |
|--|---|
| <p>界一受けたい授業」に出演。朝日新聞 2010.4「花まる先生」掲載される。2008年8月20日～24日 JICA 海外協カマレーシア国際教育協力講演。2010年 日韓授業交流授業及び講演。2013年7月～2017年7月 ウガンダ JICA 技術協力教育開発国際協力研究センター協同研究員。2018年 東南アジア教育大臣機構（SEAMEO）センターへの専門家 短期派遣事業でインドネシアへ。2019年 日本デンマーク授業交流会参加コペンハーゲンで授業。LEGO Education Teacher Awardにより、各国にて最優秀賞に選抜された先生方のみをご招待するシンポジウム参加でアメリカタフツ大学へ。主な著書は、担任が安心して取り組めるプログラミング教育（学事出版）、小学校理科授業ネタ事典（明治図書）、筑波発「わかった！」をめざす理科授業（東洋館）「なぜ？を楽しむ理科の授業」（学事出版）、「理科の定番授業小学校5年」（学事出版）、「自然界の超能力！」監修（学研）、人のからだかるた監修（学研）、学習新国語辞典編集（講談社）</p> |   |
| <p><b>立教大学理学部 SCOLA</b><br/> <b>特任准教授／サイエンスコミュニケーター</b><br/> <b>古澤 輝由（ふるさわ きよし）</b></p>  |   |
| <p>高校で生物教師として教鞭を執る傍ら、音楽ライター、DJとしても活動。2011年より青年海外協力隊（現：JICA 海外協力隊）としてアフリカ・マラウイ共和国に赴任。理科教師、教育アドバイザーとして活動しつつ、有志で科学劇団「PICO factory」を結成。</p> <p>帰国後、日本科学未来館での科学コミュニケーター職を経て、コミュニケーターの育成に携わる。2016年より北海道大学 科学技術コミュニケーション教育研究部門（CoSTEP）特任助教、2020年より現職。近年では、イグ・ノーベル賞に着目し「イグおじさん」として教育番組解説や展示監修、授賞式の日本語配信監修なども行っている。</p>   |  |

|   |   |
|---|---|
| <p>節操のないことが取り柄と信じ「まとまりのない経験をまとめて活かす」がモットー。</p>  |   |
| <p style="text-align: center;"><b>【モデレーター】</b><br/> <b>独立行政国際協力機構</b><br/> <b>人間開発部基礎教育グループ基礎教育第1チーム 調査役</b><br/> <b>横井 恵子（よこい けいこ）</b></p>                     |  |
| <p>大学卒業後、(一財)日本国際協力センターで途上国からの研修員・留学生受入に関わる。JICA入構後は研修員受入事業、中小企業海外展開支援事業を担当。スリランカ事務所に3年間赴任し、帰国後の2019年から現所属先。これまでにラオス、パレスチナ、マレーシア、パキスタン、パプアニューギニアのプロジェクトを担当。</p> |   |

## 7. 次第

| 時間                   | 内容   | 発表者／司会         |
|----------------------|--|----------------|
| 16:00-16:10<br>(10分) | 本分科会について<br>・セッションの概要と目的   |                |
| 16:10-16:50<br>(40分) | 登壇者のご発表：<br>・自己紹介と好奇心を育む理科教育の実践事例（各10分×4名）                                     | 各登壇者           |
| 16:50-17:35<br>(45分) | パネルディスカッション：<br>・日本の理科教育現場における好奇心を育むアプローチや課題<br>・途上国の理科教育現場におけるアプローチや課題、今後に向けて | モデレーター、<br>登壇者 |
| 17:35-17:40<br>(5分)  | 閉会   |                |

## 8. 議論方法

パネルディスカッション

以上